

基本情報

時間	45 分
問題数	31 問
配点	50 点
1問	1.5 問/分

後期選抜の英語は昨年と同様にリスニング、会話文の読み取り問題、英作文、長文読解問題の構成でした。全体的に長文や会話文の内容を問うものが全体配点の40%を占め、次いでリスニング、英作文と続いています。得点の高い長文やリスニングの問題演習は日ごろの学習に意識して取り入れるようにしましょう。また、問題別にみると記述問題が50%を占め、高い割合となっています。特に第3問で出題される英作文問題は6問12点分出題され、高い割合となっているため対策が必要です。まずは英作文問題に取り組む前に、構文を覚えることや単語の正確な知識を身につけましょう。

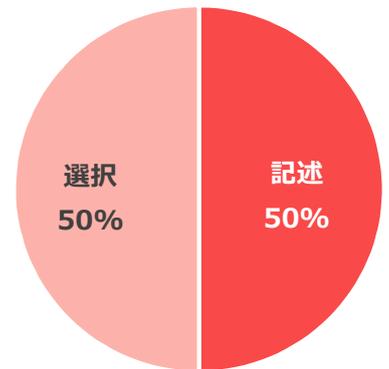
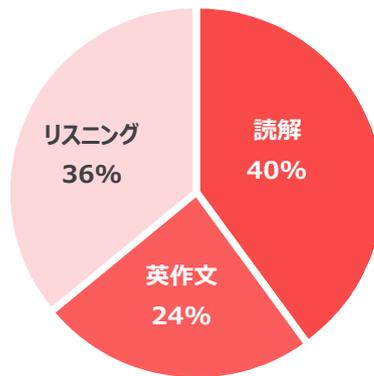


大問別

大問	問題数	配点	選択								記述														
			内容理解 説明		英文完成 空所補充		整序		その他		内容理解 説明		英文完成 空所補充		整序		和訳		英作文		自由 英作文		英問英答		その他
リスニング	14	18	8	11								5	5											1	2
会話文	5	8	1	2	2	4				2	2														
英作文	6	12																6	12						
長文	6	12	3	6	1	2				2	4														
合計	31	50	12	19	3	6				4	6	5	5					6	12					1	2

領域別

大問	問題数	配点
読解	11	20
英作文	6	12
文法語彙		
リスニング	14	18
リスニング(英作文)		
その他		



来年度入試に向けてアドバイス

- ① 長文読解演習を行おう
- ② リスニングを日ごろの学習に取り入れよう
- ③ 単語、文法といった基礎知識をしっかりと身につけよう
- ④ まず構文から覚え、日本語→英語にする練習しよう



基本情報

時間	45 分
問題数	33 問
配点	50 点
1問	1.4 問/分

数学は、例年通り第1問が計算を中心とする小問集合、第2問が文章題を基本とする小問集合問題、第3問は関数のグラフ問題、第4問は作図と立体図形、第5問は平面図形が出題された。第3問は2つの関数問題が出題される場合、第4問は作図問題ではない場合もあります。

全体的な配点をみると、第1問、第2問の小問集合で配点の40%以上を占めます。計算問題をはじめ、基本的な問題が多く出題されます。満点を目指して、基礎問題を速くかつ正確に解けるように練習を積み重ねましょう。

また例年、図形や関数は高い配点となっています。関数はグラフ問題が出題されますので数多くの問題を解きましょう。一方、図形は、作図や証明を含めて様々な問題が出題されます。第5問は円に関する問題が毎年出題される傾向にあり、円、相似、三平方の定理の知識を使って解く必要があります。十分な演習時間を確保できるように早めに中3の範囲を終わらせるように計画を立てましょう。

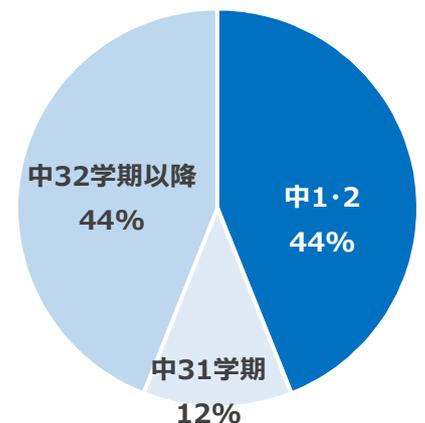
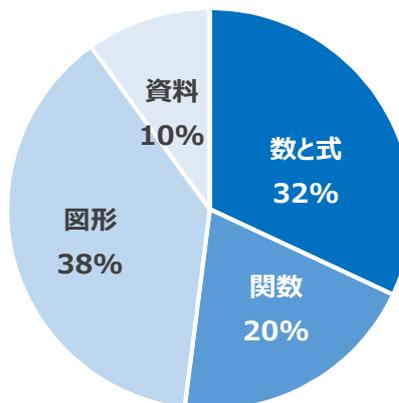


大問別

大問	問題数	配点	選択		計算		作図		証明		説明		用語基本		その他記述		他		
			問	点	問	点	問	点	問	点	問	点	問	点	問	点	問	点	
小問集合	8	12			6	10												2	2
小問集合	7	9																7	9
関数総合(2題)	7	10																7	10
図形総合(2題)	4	8					1	3										3	5
平面図形(円)	7	11							4	6								3	5
合計	33	50			6	10	1	3	4	6								22	31

領域別

大問	問題数	配点
数と式	11	16
関数	7	10
図形	11	19
資料	4	5
その他		



来年度入試に向けてアドバイス

- ① 小問集合は満点を狙おう
- ② 図形問題が解けるように早めに中3範囲を終わらせよう
- ③ 関数のグラフ問題をたくさん解こう



基本情報

時間	45 分
問題数	39 問
配点	50 点
1問	1.2 問/分

理科は、昨年度と同様に大問8題構成で、物理、化学、地学、生物それぞれの領域で2題ずつ出題されました。

どの領域も配点が同じになるように配分されており、まんべんなく出題されるようになっています。ですので、苦手単元や苦手な領域を作らないようにすることが大切です。

また、配点の70%以上が記述問題です。内訳は用語問題が最も多く12問12点、次いで計算6問11点、説明問題6問10点と続いています。説明問題は用語を暗記するだけでなく、「なぜその実験をしているのか?」「どのような結果が得られ、そこから何が言えるのか?」などしっかりと確認しましょう。加えて、計算問題も典型問題を確実に解けるようにしておきましょう。

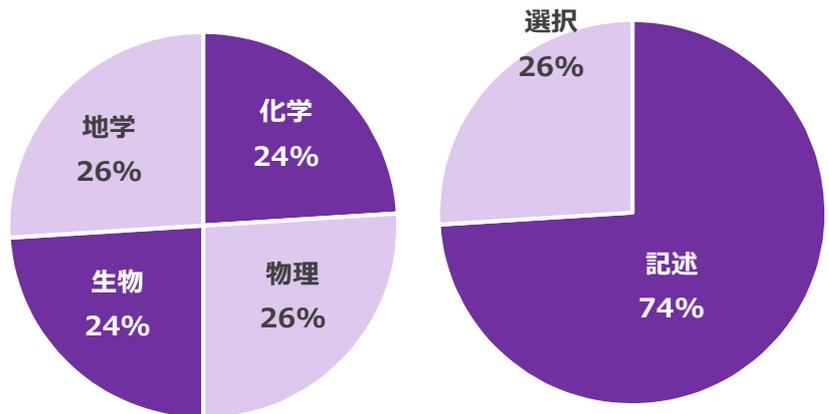


大問別

大問	問題数	配点	選択								記述													
			計算		知識		説明結果考察		数式・化学式		その他		計算		図示		用語		説明		数式・化学式		その他	
刺激と反応	3	4			1	1					1	2			1	1								
状態変化・物質の性質	3	4			1	1					1	2			1	1								
力のはたらき	3	5			1	1					1	2	1	2										
天気	4	4			1	1					1	1			2	2								
化学変化とイオン	6	8			1	1					1	2			1	1	2	2	1	2				
食物連鎖・生物どうしのつながり	7	8			2	2									4	4	1	2						
岩石	7	9			3	3					1	2			2	2	1	2						
電流と磁界	6	8					3	3							1	1	2	4						
合計	39	50			10	10	3	3			6	11	1	2	12	12	6	10	1	2				

領域別

大問	問題数	配点
化学	9	12
物理	9	13
生物	10	12
地学	11	13
その他	0	0



来年度入試に向けてアドバイス

- ① 苦手分野や単元をつくらないようにしよう
- ② 用語を覚えて基礎知識を固めよう
- ③ 実験の過程や結果を説明できるように練習をしよう
- ④ 典型的な計算問題を確実に解けるようにしておこう



基本情報

時間	45 分
問題数	33 問
配点	50 点
1問	1.4 問/分

社会は、今年度入試も、地理、歴史、公民をそれぞれ総合的に問うものが5題出題されました。基本的などの分野からもまんべんなく出題されるために、苦手単元や苦手な範囲を作らないことが大切です。特に地理、歴史に関しては、配点の70%を占めます。早めに一通りの復習を行い、多くの演習問題を解きましょう。

また、記述問題が配点の60%以上を占めています。用語問題も最も多く8問16点を占めていますが、近年資料の読み解いて説明させる問題が増加しています。用語を覚えることも必要ですが、グラフや表などから、因果関係を含めて覚説明できるようにしましょう。他の都道府県の問題を解くことも有効な学習法です。

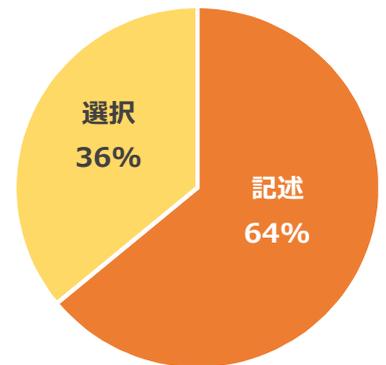
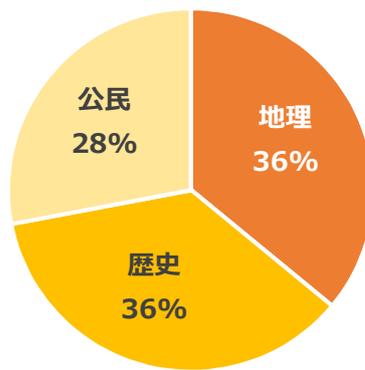


大問別

大問	問題数	配点	選択										記述															
			知識		資料読取		説明		整序		その他		用語		資料読取		説明		整序		図示		計算		その他			
世界地理総合	6	9	1	1			1	1			1	1	2	4			1	2										
日本地理総合	6	9	0	0	2	2	0	0	0	0	1	1	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
歴史総合	6	9	1	1			1	1			1	1	2	4	1	2												
歴史総合(近世以降)	6	9	3	4			1	1					1	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公民総合	9	14	4	4									3	6	2	4												
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	33	50	9	10	2	2	3	3			3	3	8	16	6	12	1	2							1	2		

領域別

大問	問題数	配点
日本地理	6	9
世界地理	6	9
歴史古代中世	5	7
歴史近世	4	6
歴史近現代	3	5
公民政治	4	6
公民経済	4	7
公民国際	1	1



来年度入試に向けてアドバイス

- ① 苦手分野や単元をつらないようにしましょう
- ② 基本用語をしっかりと覚えよう
- ③ たくさんのグラフ問題、資料問題に取り組もう

